

使 覧	課長	主任 主幹 (総括)	(衛生・水道担当)			係
			主幹	副主幹	副主幹	
	田	高橋	谷部			

本日より 本誌への意見提供
のお願いです。併発します

須田 (有敵者 家次郎教授)

栃木県水道ビジョンは、国の新たな水道ビジョンの策定を受け、
 県北圏域、県央圏域及び県南圏域の三広域圏を設定したうえで、課
 題の抽出・現状の分析を行い、将来の理想像を描き、目標と実現方
 策を示している。

吉山

これを基に各々の水道事業者による水道ビジョンが描かれていく
 ことは、それぞれの地域性に対応した水道事業経営への取り組み、
 東日本大震災を踏まえた強靱な施設の整備、安心・安全な水道水の
 安定供給の持続などの効果が期待できる。

加えて、厳しい経営環境への対応を求められる水道事業者にとっ
 て、県を調整役として水道事業の多様な連携・発展的広域化の推進
 が検討されていくことは、水道の将来の方向性・目標として適切で
 あると思慮される。

平成27年 2月20日

池田 裕一

栃木県
27.2.20
生衛第 号